

災害の危険が迫っているとき

⑤と⑥は、あらかじめ決めた避難場所まで安全に移動できる状況がないときに緊急的に命を守るための場所です。

⑥自宅内のより安全な場所
2階以上の山の斜面とは反対側の部屋

⑥自宅内のより安全な場所
最上階の部屋

① 自宅

どこに避難しますか？

⑤ 近くの安全な建物

③ 指定緊急避難場所

④ 宿泊施設

② 親戚や知人宅



自分の避難先を考えよう

指定緊急避難場所以外にも避難先を選択肢があり、自分がいる場所の災害リスクなどで避難先が決まります。

「避難」とは「難」を「避」けることです。

安全な場所にいる人は、指定緊急避難場所などに行く必要はありません。「自分のいのちは自分で守る」という意識のもと、皆さん一人ひとりが適切なタイミングで、安全な場所に避難してください。

スタート

ハザードマップで自宅を探してみましょう

兵庫県CGハザードマップ

洪水・土砂災害・津波・高潮・ため池災害による浸水想定区域や危険箇所等を確認できます。

CGハザードマップ

インターネットで「CGハザードマップ」と検索、または、右のQRコードからご覧いただけます



※ハザードマップでの危険な区域

地図に赤色や黄色などで着色されている場所は災害が発生するおそれの高い区域です。(着色の凡例は地図によって異なります)

自宅はハザードマップで危険な区域※にありますか？

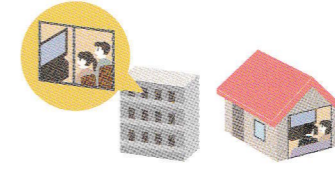


はい

災害の危険があります

自宅外の安全が確保されている場所へ早めに避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？



はい

安全な場所にある
②親戚や知人宅へ避難



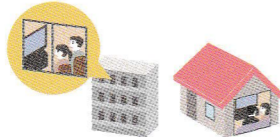
いいえ

例外

① 在宅避難

安全が確保されている場合は自宅に待避

ただし、少しでも危険と感じた場合は指定緊急避難場所などへ避難しましょう



例外

以下のことを満たす場合は状況や安全を確認し、自宅にとどまることも可能です。

- ・ 堅牢なマンション等の上層階などの安全な場所
- ・ 十分な水、食料、生活用品などの備えがある
- ・ 停電や断水などに耐えることができる

※自宅がハザードマップで危険な区域になくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにある場合は、状況に応じて、自宅外への避難を検討しましょう。

いいえ

市町の
③指定緊急避難場所

や安全な場所にあるホテルや旅館などの

④宿泊施設へ避難

裏面の「マイ避難カード」を活用して、自分の避難先や避難を始めるタイミングをあらかじめ決めておきましょう。

避難する際は、近くの知り合いに避難を呼びかけるなど、地域の皆さんによる助け合いをお願いします。

指定緊急避難場所などへの避難が困難な場合

いざというときに安全な場所へ移動できるよう、普段から避難のタイミングを決めておきましょう。

あらかじめ決めた避難場所まで安全に移動できる状況にないとき、近くに避難することのできる安全な建物などがありますか？

はい

⑤近くの安全な建物などへ避難

自宅から安全に移動できる場所にある近くの堅牢な建物の上層など

いいえ

⑥自宅内のより安全な場所へ避難

自宅内のより安全な場所の例
・ 最上階の部屋
・ 2階以上の山の斜面とは反対側の部屋 など

安全に移動できない場合の例
・ 夜間
・ 風雨が強い
・ 周辺の道路が冠水している
・ 周辺の川や用水路が増水している